ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)	区分・【新主題】/（分野）	授業形式
E112E001	国語科指導法(中等) (Methodology of the Japanese Language and Literature Teaching(Junior High School))		オンライン（同時双方向型、含 対面）

必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態
必修	2	2	教育学部 ≪令和２年度以降入学生用≫	前期	金2	日本語		単独

担当教員	氏名　竜田徹 E-mail　　内線
授業の概要	学習指導要領に示された中等国語科の目標や内容を理解するとともに、基礎的な学習理論を理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。

具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	学習指導要領における国語科の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。			○				
目標2	領域別の学習内容についての指導上の留意点を理解している。		○					
目標3	国語科の学習評価の考え方を理解している。	○						
目標4	学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。		○					
目標5	模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。	○			○			
目標6								
目標7								
目標8								
目標9								
目標10								
	各DPへの関連度（計10）	2	3	3	2			

授業の内容

1	中等国語科教育の意義　「学習指導要領」の背景と育成を目指す資質・能力
2	中等国語科教育の目標と内容　教科目標及び学年の目標、内容構成
3	中等国語科教育の授業構成　国語科における言語活動、アクティブ・ラーニングの視点による主体的・対話的で深い学び
4	中等国語科教育における評価　評価規準と評価方法
5	「話すこと・聞くこと」の学習指導の実際　教科書教材を例にして
6	「書くこと」の学習指導の実際　教科書教材を例にして
7	「読むこと」の学習指導の実際　文学的文章教材
8	「読むこと」の学習指導の実際　説明的文章を例にして
9	「知識及び技能」に関する事項の学習指導　教科書教材を例にして
10	学習指導案の作成1　様式と構成
11	学習指導案の作成2　グループによる協働作成
12	学習指導案の検討　見直しと修正
13	模擬授業１　１５分の模擬授業と質疑
14	模擬授業２　１５分の模擬授業と質疑
15	学習のまとめ

アクティブラーニング				
A:知識の定着・確認	○	・教科書教材の分析報告作成とそれについての意見交換 ・グループによる指導案検討会	その他の工夫	・毎時間、課題あるいは宿題を課す。
B:意見の表現・交換	○			
C:応用志向	○			
D:知識の活用・創造	○			

授業時間外学修の内容と想定時間		
	準備学修	「中学校学習指導要領解説　国語編」（平成29年）を事前に指定された範囲を熟読し、不明な用語の意味を確かめておく。教材分析、指導案作成。(30h)
	事後学修	学習した内容を必ず記録し、集積する。(15h)
	想定時間合計	45

教科書	適宜プリントを配付する。
参考書	「中学校学習指導要領」、「高等学校学習指導要領」、「中学校学習指導要領解説　国語編」、「高等学校学習指導要領解説　国語編」、「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料【中学校　国語】」、「評価基準の作成、評価方法等工夫改善のための参考資料【高等学校　国語】」

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	各時間における課題・宿題	25%	○	○	○	○						
	国語科学習指導案	35%	○	○	○	○						
	模擬授業	10%	○	○	○	○						
	最終課題	30%	○	○	○	○						

注意事項	参考書は事前購入の必要はない。
備考	特になし。
リンク	
URL	